

「大規模災害発生時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」調印式

2月18日、紋別市と北海道産業資源循環協会オホーツク支部は大規模災害時に発生する廃棄物の処理のための協定を締結しました。同協会と市町村が個別に協定を締結するのは道内で初めてで、同協会の山本副会長とオホーツク支部の伊藤支部長、宮川市長が協定書にサインしました。災害廃棄物の迅速、適切な処理が期待されます。

協定書を交わす宮川市長と伊藤支部長▶



令和元年度 紋別市技能功労者表彰

市では、2月27日(木)に令和元年度紋別市技能功労者として、3名の方々を表彰しました。この表彰は、同一職種に従事し、技能に優れ、後継技能者の育成にも尽力し、業界の発展に貢献されるなど、他の技能者の模範として認められる方々を対象とした表彰です。



多古富 村上 則昭さん (71歳)

昭和50年に自店を開業し、はまなす通りにて45年間営業を続けている。努力と経験を重ね、食材に関する深く幅広い知識と優れた調理技能を有しており、定番料理である天ぷらを中心に高く評価されている。

はまなす通り振興会では会計部長を務めており、業界の発展に大きく寄与している。また、はまなす通りの店舗数減少を止めるため、紋別料飲店組合と連携し、若い料飲店経営者の育成に尽力している。

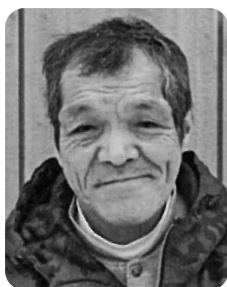


レストラン あんどう 安藤 憲四郎さん (70歳)

料理人として50年以上従事し、昭和50年にはレストランを開業している。優れた調理技能を有しており、レストランで提供される料理は古典的な技法を用いて、下処理から丁寧に作られている。

また、一般社団法人全日本司厨士協会の紋別地区長を平成24年から平成26年まで務め、現在は同会の北見支部相談役として後進の育成に尽力している。

さらに、平成17年まで氷彫刻を手掛け、冬の街を彩り、地域の活性化に寄与した功績は高く評価されている。



北栄建設産業株式会社 島山 広さん (64歳)

大工として48年以上従事しており、数多くの工事現場を手掛けてきた。懸命な努力と経験を重ね、昭和53年には2級建築大工技能士を取得し、大工の棟梁として高い評価を得ている。

また、職務に誠実で勤勉であることから、現場のリーダーとして中心的な役割を果たしてきた。若手大工の技術習得にも力を注ぎ、精力的に後進の技能向上・育成に尽力しており、地域発展に大きく寄与している。